年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　2022 年　4 月　15 日
● 事　業　名　：　持続的な北海道に向けた関係人口を活用した次世代育成事業
● 資金分配団体　：　（一社）北海道総合研究調査会（HIT）
● 実 行 団 体　：　特定非営利活動法人 ezorock
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　☐無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
1.社会教育セクターに対するコーディネートについてまとめたテキストの配布、中間支援の実施	1)テキスト配布地域 2)実施地域 3)活動報告ニュースレター配布件数	1)40 地域 2)12 地域 3)80 人	2023 年 3 月	1)0 地域 2)0 地域 3)70 人	2
2.各地で実施されている地域づくりへの都市部の若手人材の巻き込み(都市部から関係人口として地域づくりに関わる若者の巻き込み)	活動参加者数	のべ 1500 人日(実人数 250 人)	2023 年 3 月	のべ 895 人	2
３.石狩市浜益区で実施した地域づくり事例等の団体 web サイトでの配信	配信記事数	45 記事	2023 年 3 月	30 記事	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
本事業の大きな柱である社会教育セクターに対するコーディネートについてまとめたテキストブック作成を行った。計 14 名の専門家や活動実践者と共に議論をしながら、地域内外の若者を巻き込みながら持続的な地域づくりを考えるテキストブックとなった。青年教育等の専門家を交えた検討委員会では、テキストブックの内容はもちろんのこと、完成後の配布先や今後の展開についても意見交換を行った。また、年間を通して現場実践型のプログラムを実施し、のべ 554 名の高校生から 30 代の若者が参加した。現場での活動を補完するオンラインでの事前説明会やイベントも 33 回実施し、のべ 351 名が参加した。その中で、準備されたプログラムに参加するのではなく、運営に関わるボランティアメンバーの育成を行い、35 名が継続的に参画している。ボランティアメンバー自らオン／オフラインでの活動やイベントを企画し、事務局が間に入りながらも地域の方と調整して、活動を行うことができている。 石狩市浜益区では、行政・企業と連携したワーケーション実証事業の開始や各地からの視察受入など活動の広がりを感じている。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
・オンライン／オフラインの組み合わせとその割合を工夫した。事前説明会やイベントなどはオンラインで実施し、実践型の活動は対面形式で行うなどより有効であると考えられる手段を選択した。日常的にはオンラインでのコミュニティづくりを行い、2-3 か月に一度対面で交流する時間があると、チーム作りにも有効であるように感じている。対面形式での活動時には、抗原検査を実施し、参加者も受入地域も安心して活動に臨めるよう工夫した。

② 広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） ・2021/05/21：北海道新聞（石狩市浜益区でのワーケーション実証事業について） ・2021/07/21：北海道新聞（石狩市浜益区でのワーケーション実証事業について） ・2021/11/29：北海道新聞石狩版（石狩市浜益区での取り組み（集落の教科書）について） ・2021/12/01：AIRDO 機内誌「rapora」2021 年 12・1 月号（本事業を発信する WEB マガジンについて） ・2022/02/04 さくらインターネット株式会社 WEB マガジン（石狩市浜益区でのワーケーション実証事業について） ・2022/02/08 北海道新聞石狩版（石狩市浜益区での取り組み（おためし地域おこし協力隊）について） 2.広報制作物等 ・179RELATIONS MAGAZINE #5：2021 年 7 月発行：69 部（道内の社会教育、大学関係者へ送付）（ボランティアメンバーについて） ・179RELATIONS MAGAZINE #6：2021 年 10 月発行：71 部（厚真町での長期滞在プログラムについて） ・179RELATIONS MAGAZINE #7：2022 年 1 月発行：72 部（本事業を発信する WEB マガジンについて） 3.報告書等 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　　☐整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：不正行為がなかったため。
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）

大雪山自然保護プロジェクト@東川町

厚真長期滞在プロジェクト@厚真町

RELATIONS RADIO #4@オンライン

集落の教科書インタビュー@石狩市浜益区